

[本校] 〒950-2292 新潟市西区みずき野 3-1-1

tel. 025-239-3111 fax. 025-239-3690

[新潟中央キャンパス] 〒951-8068 新潟市中央区上大川前通 7-1169

tel. 025-227-7111 fax. 025-227-7117

http://www.nuis.ac.jp somu@nuis.ac.jp

平成19年4月15日 発行



平成19年度入学生

おめでとう

向学心を高め
人間性豊かに成長を

平成19年度の入学式が4月5日、本校体育館で行われ、新入生323人(情報文化学科126人、情報システム学科197人)が希望に胸を膨らませ、みずき野キャンパスでの学生生活をスタートさせました。

武藤輝一学長が「自らの意志で発言・行動し責任を持つ自主・自律性を身に付け、向学心を高め学生生活を謳歌し、国際化・情報化の社会に役立つ人間性豊かな社会人に成長してほしい」と祝辞を贈りました。また、在校生を代表して情報システム学科の佐藤戸志仁さんが「明るく楽しい充実したキャンパスライフを送るために、各舟の魚は枝流に游がず」という言葉を贈ります」と歓迎の言葉を述べました。

これに対して新入生を代表して情報文化学科の後藤瑞穂さんが「新潟人、日本人として文化や伝統を胸を張って語れるように勉強していきたい」と力強く抱負を述べ、教職員、先輩らから激励の拍手を受けました。

恒例の新入生合宿研修は9日から3日間行われました。両学科のガイダンス、教員や学友会との懇談やレクリエーションで親睦を深め、勉学やサークル活動などに取り組んでいます。



CONTENTS

2・3面

入学式特集

学長告辞 歓迎の言葉
新入生代表・私の抱負

4・5面

平成18年度主な就職先

トピックス

「映画の中の市民社会」予告
派遣留学生帰国報告会
ロシア語スピーチコンテスト

6・7面

新入生、在校生を激励

学長、学部長、学生部長
情報センター長、両学科長
退任教員あいさつ
新任教員紹介2人

8面

進路ガイダンス・オープンキャンパス案内
平成20年度入試概要・奨学金制度

9~12面

平成18年度卒業式特集
思い出ひとこと・特別表彰・スナップ

平成19年度

第14回

入学式

学長告辞

若さと情熱で

「夢創る道」を進もう



新潟国際情報大学長

武藤 輝一

新入生の皆さん、ご入学おめでとう。本日ここに新潟国際情報大学第14回入学式を挙行するにあたり、この日を迎えられた新入生の皆さんに、またご出席くださいましたご親族の皆さんに、新潟国際情報大学の役員、教職員一同を代表して、心からお祝い申し上げます。このように多数の元氣澁刺として前途有為の皆さんを迎えることができますのは、我が大学にとりまして大変な喜びであります。

このたび本学に入学された皆さんは、情報文化学科126人、情報システム学科197人、合わせて323人であります。本学の開学は平成6年の春でありましたので、満13年を経過し、本年3月までに2935人の卒業生が実社会へと巣立って行き、大いに活躍中であります。本学創立の理念は、我が国の社会、文化についての認識と理解を基礎に、国際化、情報化の社会の中で役立ち、能力があり、意欲があり、人間性豊かな人物を育成することにあります。

情報文化学科では全学生が実用英語を習得

するとともに、これとは別に各人の希望に従って英語、中国語、韓国語、ロシア語のうちのいずれか一カ国語を学び、同時に我が国の社会、文化と対比しつつ外国の社会、文化を学び、社会のために貢献しうる人物を育成することを目指しております。情報システム学科では全学生が英語を習得するとともに、世界中に広く構築された情報技術および情報システムの理論と実際を学び、同時に例えば、経営および地域情報システム、財務および管理会計、マルチメディア情報処理など情報システムの社会での応用を学び、その知識と技術によって社会の発展に寄与しうる人物を育成することを目指しております。

また両学科にわたり、基礎科目、共通科目を通して教養教育にも心掛けています。本学における教育、研究の目的とするところをご理解いただければ幸いです。

最近では小、中、高等学校においても、生徒自身の自主性を高めようとする教育が行われるようになりましたが、皆さんは大学卒業後、一社会人として見られ行動することになります。自分で考え、自分で生きて行くことになります。何事にも、自らの意志を持ち、自らの考えで発言・行動するという自主性、並びに自らの価値観を持ち、自らの発言・行動に責任を持つという自律性を持たなければなりません。既に皆さんはこのような自主性、自律性を備えているかもしれません。本学在学中にこの習慣をしつかりと身に付けてほしいのであります。もちろん他人の意見にも耳を傾け、周辺の状況を冷静に見極めることが必要なのは申すまでもありませんし、人間社会の秩序を守るため個人の自由にもある程度制限はありますが、無為に流れに身を任せて生きるのではなく、これからの学生生活の一

日一日を大切に、有意義に過ごすではありませんか。山本有三の書『路傍の石』（古い本で、私はこの映画も見ておりますが）の中で、苦境にたった主人公の小学生に向かい「たった一人しかない自分を、たった一度しかない一生を、本当に生きなかつたら、人間、生まれてきた甲斐がないじゃないか」と励ました担任教師の言葉は、まさに人生の大切さを教えているといえましょう。片道切符の人生に後戻りはありません。満足感多く、後悔の少ない人生となるよう心掛けて、これからの人生を進んでほしいのであります。

今日から新潟国際情報大学での生活が始まります。すべて平穩に進むかもしれません。うれしいことや楽しいこともたくさんあるでしょうが、時には思い悩むことや悲しいことにも遭遇し、あるいは失敗することもあるでしょう。しかしまれに遭遇する失敗は、その後の人生の大切な糧となり、その人の人生に人間味と深みを与えます。皆さんは若く、そして情熱があります。困難や失敗に怯まず、これを楽しみ、私どもの大学の校歌にある「夢創る道」を進もうではありませんか。我が国ではバブル崩壊の余波も去り、国内

歓迎の言葉

大志を抱いて

充実した学生生活を



在学生代表 情報システム学科

佐藤 戸志仁

新入生の皆さん、ご入学おめでとうござい
ます。またご臨席いただきました多数の保護

総生産も上昇傾向にあり、ここ1、2年の大学卒業生の就職率は良好であります。私どもの大学も例外ではありません。2年次の後期から3年次の前期にかけてキャリア開発教育が、3年次の夏期休暇中にインターンシップが行われます。これが終了するころには、自分自身をよく分析し、おおよそどのような職種を選びたいのか決めておくことが必要です。もちろん大学院への進学もお勧めします。遠慮なく教職員のみなさんに相談してください。

この冬は日本全国例年になく暖冬となりましたが、3月に入り何日か寒い、風の強い日が続いたため、気象庁の桜の開花予想時期は的中しませんでした。でも大学校庭の桜並木に、皆さんを歓迎するように桜の花が咲き始めつつあるようです。

若く澁刺とした皆さんの皆さんを迎える喜びのあまり、ついたくさんの希望を申し上げることになってしまいました。皆さんが向学心を高めて勉学に勤しみ、学生生活を謳歌し、心温かく人間性豊かな社会人に成長されるよう心から期待し、皆さんを迎える言葉と致します。

者の方々、おめでとうございます。皆さんの入学を在校生一同、心より歓迎いたします。

本学は「情報社会を先導し、また国境や地域そして文化の違いを尊重し、国や地域を越えて人類の共存・共生に貢献する」という教育理念のもと、学生は学問、部活動、サークル活動に積極的に参加し、充実した大学生活を送っています。

皆さんは今日から大学生としての新たな生活を迎え、不安や緊張があるかと思いますが、また、期待に胸膨らませている方もいるでしょう。

皆さんは大学に期待していることは何でしょうか？先進分野の研究、尊敬できる師との出会い、また心から信頼し合える友人との出



会い、そして明るく楽しいキャンパスライフ。そのすべてが新潟国際情報大学にはあります。新潟国際情報大学ではこれから4年間、皆さんは今までとは違う学生生活を送ることになります。特に大学ではいろいろな面で自由であり、そして自らの判断で決めなければならぬことが多いのです。したがって大学生活が良いものになるかどうかは皆さんの判断力・行動力によって決まるといっても過言ではないでしょう。また4年間という時間も決して長いものではありません。4年間の大学生活を充実したものにするために一日一日を大切に過ごしていかなければなりません。

以上のことを踏まえて、私は皆さんに中国古典『列子』から「舟の魚は枝流に游がず」という言葉を贈ります。「船を飲み込むような大きな魚は決してちまちまとした支流を泳がず、本流を泳ぐ」ということから大人物は志を抱き、世俗とは違う環境に身を置くことの例えですが、皆さんが魚になるためには大きな目標を見つけ、この新潟国際情報大学という本流の中で大きく成長してほしいと願うのでした。

今日は、私たち新入生のために、このような素晴らしい入学式を挙げていただき、また心のこもった激励のお言葉を賜りありがとうございました。

私たちは、これから4年間この大学のある新潟で暮らすことになります。しかし、他の地域と無関係であることはできません。東京で起こったことはもちろん、ニューヨークあるいはバグダッドで起こることが私たちの生活に変化を及ぼします。先日、外国のある都市での株価の暴落が、その翌日には東京に影響を与えています。また、地球の反対側の海の状態が、新潟の暖冬の要因と考えられています。こう考えると、全世界の人々が正に「宇宙船地球号」の乗組員であり、同じ運命を背負った「同胞」として意識されてきます。

今、私は、アフリカのジャングルに住む人々の生活習慣やアラスカのイヌイトと呼ばれる人たちのものの考え方、あるいは、中東な



新入生代表 情報文化学科 後藤 瑞穂

私の抱負 世界的な視野に立つて 行動できる国際人を目指す

最後になりましたが、皆さんが本学に入学されたことを心から祝い、これからの学校生活が皆さんにとって充実したものになることを願って歓迎の言葉とさせていただきます。

どで信じられている宗教などについて調べ、「同胞」のことが少しでも深く理解できる人間でありたいと思っています。同時に、新潟に住む人間として、あるいは、日本人として、その文化や伝統を「同胞たち」に胸を張って語れるように勉強していきたいと考えています。そのためには、情報の収集や発信の仕方、コミュニケーションの方法などについても、しっかりと学んでいかなければなりません。

本学における4年間の生活を通して、本学の特徴である充実した教育設備、また少人数教育という環境に感謝しながら、世界的な視野に立つてものごとを考え、行動できる国際人を目指して励みたいと思います。

最後に、学内のルールばかりでなく、社会一般のモラルやマナーを尊重しながら、経験豊かで情熱にあふれる先生方からのご指導に對し、真摯に学ぶ姿勢を保ち続けることをお誓いし、入学にあたっての私の抱負といたします。

祝電

- 新潟県知事 泉田 裕彦
- 新潟市長 篠田 昭
- 日本私立大学協会会長 大沼 淳
- 上越教育大学学長 渡邊 隆
- 長岡技術科学大学学長 小島 陽
- 長岡大学学長 原 陽一郎
- 長岡造形大学学長 鎌田 豊成
- 新潟工科大学学長 布村 成具
- 新潟産業大学学長 広川 俊男
- 慶熙大学校国際教育院院長 金 重燮
- 株リクルート代表取締役社長 柏木 育

湧 YUJEN 源

編集後記に代えて

広報委員長 越智 敏夫

1977年春の資生堂CMソングは尾崎亜美「マイ・ビュア・レディ」、翌78年春は南沙織「春の予感」である。後者は尾崎の作品で「お化粧して恋人つくって遊びに行こう」という内容は共通していた。つまり2年続けてあの能天気な楽曲が日本の春を寿いでいたのである。

先日、実家の母が突然入院し、結局大事には至らなかったが急いで松山に帰省した。その飛行機の名でこの2曲がヘッドフォンから流れてきたとき、あのころの高校生だった自分と、老いた母のことを考えながら飛行機に乗っているこの自分との落差に驚いたというのは真つ赤な嘘である。お気楽な性格も見通しの甘さも自意識においてはまったく変化なしである。断言するが成長していない。しかし他人は自らの成長を本気で自覚しているのだろうか。老けたということは自覚する。けれども7歳のときに使っていた消しゴムの匂いまで覚えていたのが人間である。勉強しないことを母になじられていた高校生と、今のこのおっさんはまったくの連続体である。

成長するにしたがつて幼児性が消え、青年、成人と段階的に変化するという人間成長論は社会的にも根強い。それがカントやルソーの人格陶冶論に結びつくと、「立派な大人」という観念はいっそう乱用される。しかし現代思想はこの「大人主義」にも疑義を挟む。大人は本当に大人なのか。これはまっとうな問いである。人間が記憶の束だとすると、7歳の自我も永久に人格のなかに残り続けるのではない。すべての大人が大人であるわけではない。ちゃんぽらんな大人はいくらでもいる。大人になるのに試験は必要ない。時間さえ経過すれば誰でもなれる。そうこうするうちに、適当にごまかす能力というか、大人のふりをする狡猾さというか、そういうものは身に付いていく。それを成熟だと誤解してしまう。だから自分は立派な大人になったと本気で信じている人間には、どこかに致命的な欠陥があるといつてよい。

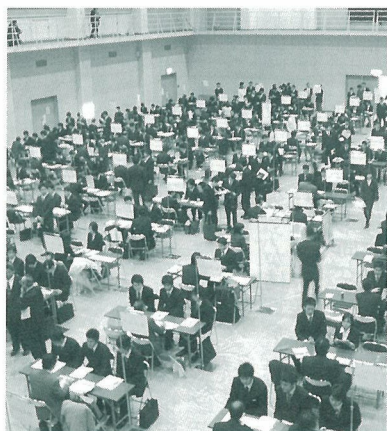
季節は春だけれど大人への階段なんかどこにもない。落とし穴ばかりである。

就職活動レポート

学内合同企業説明会

恒例の「学内合同企業説明会」が2月14、15日の2日間、本校体育館で開催されました。春一番の荒天にもかかわらず県内外から209社にご参加いただきました。

参加した約300人の学生はリクルートスーツに身を包み、初体験に少し緊張気味。お目当ての企業ブースで担当者の説明に耳を傾け、熱心にメモを取っていました。企業担当者の親切な対応にほっとする場面もあり、就職活動の第一歩として順調なスタートとなりました。



会場いっぱいの企業コーナーで就職活動の第一歩



平成18年度卒業生 主な就職先一覧

アークベルグループ アークランドサカモト(株) (株)アークシガー アサヒアレックス(株) 味の素システムテクノ(株) (株)アトラ・アイシー (株)アルコン 池伝(株) (株)イタリヤ軒 イワツキ(株) (株)ウイング (株)ウオロク エイネット(株) (株)エービーシー・マート (株)SFCG (株)エスエフシー新潟 越後おちや農協協同組合 越後さんとう農協協同組合 NECソフト(株) エヌエスアドバンテック(株) NDSシステム(株) (株)NTC 江部松商事(株) (株)遠藤製作所 (株)岡崎特機 (株)岡藤商事 カナイ医療器(株) (株)兼古製作所 カネ美食品(株) 上市信用金庫 北日本エンジニアリング(株) 北日本物産(株) キャノンイメージングシステムテクノロジーズ(株) (株)キュービット (株)共育舎 (株)クスリのアオキ クラッシュアンドカンパニーグループ 光陽ファイナンシャルトレード(株) (株)コダマ (株)コメリ (株)コロナ コンピュータロン(株)	サイバーコム(株) サカイ引越センター(株) 佐川急便(株) 珊瑚礁(株) (株)サンソウシステムズ (株)サンテック (株)三宝 シェイクハンズグループ (株)JTB関東 (医)社団しただ (株)シナゼン 芝通グループ 清水商事(株) (株)ジャパンネット (株)ジュエリーフンド シリウスグループ シンコール(株) (株)晴光デジタルクリエイティブ セコム上信越(株) (株)総研システムズ ソリマチ(株) (株)損害保険ジャパン (株)大光銀行 (株)第四銀行 (株)高儀 (株)高助 (株)タカヨシ タクトシステムズ(株) ダムズグループ 中越運送(株) 中越クリーンサービス(株) 鶴木(株) THK新潟(株) テクノシステム(株) 東京コンピュータサービス(株) 東テック(株) (株)トーシン TOTO新潟販売(株) (医)徳真会グループ (株)トップカルチャー トヨタカローラ新潟(株) (株)ドラゴン	長坂パロック(株) (株)仲代金属 (株)新潟オービックシステムエンジニアリング 新潟県国民健康保険団体連合会 新潟県信用組合 (株)新潟県農協電算センター 新潟交通観光バス(株) 新潟総合警備保障(株) (株)新潟ダイハツモータース 新潟中央青果(株) 新潟調剤薬局グループ(有)共栄堂 (株)新潟データセンター 新潟トヨタ自動車(株) にいがた南蒲農協協同組合 (株)新潟日報社 新潟日報販売(株) (株)新潟藤田組 新潟みらい農業協同組合 新潟ヨコハマタイヤ(株) (株)新潟読売インフォメーションサービス 新潟リコー(株) 日産プリンス新潟販売(株) 日本精機(株) 日本郵政公社 日本システムクリエイト(株) (株)日本ビジネス・サポート ネットトヨタ新潟(株) 野村證券(株) (株)ハードオフコーポレーション (株)ハーモニック (株)バイタルネット (株)博進堂 橋本総業(株) (株)原信 (株)ハラダ (株)阪和 東日本旅客鉄道(株) (株)ビックウイン (株)ビット・エイ (株)ピュア ビーブルスタッフ(株) (株)ひらせいホームセンター	弘前中央青果(株) 広中電機(株) フィット産業(株) (株)フクダコーポレーション 富士ゼロックス新潟(株) 藤田金属(株) (株)富士通新潟システムズ プリヂェンスタイヤ新潟販売(株) (株)文武堂 防衛省 自衛隊 (株)北越銀行 (株)北部ハウス工業 (株)マルイ (株)マルゴシステム 丸三証券(株) 丸新産業(株) マルシン食品(株) (株)マルス マルソー(株) (株)マンパワー (株)みかづき (株)三城 三国コカ・コーラボトリング(株) ミサワホームインク新潟(株) ミサワホーム信越(株) (株)ミツ葉パース 三星金属工業(株) ミドリ安全新潟(株) 宮川ローラー(株) 明星外食事業(株) (有)メディアアナライザ モーターレンニイガタ(株) 森井紙器工業(株) 山津水産(株) (株)湯沢グランドホテル (株)ヨドリシカメラ (株)リンコーコーポレーション (株)レオパレス21 (株)レックス ワタナベグループ
---	--	--	---

景気好天の期待感の高まりと、団塊世代の大量退職時代の始まりということで、大学卒業予定者の採用事情は好転し、本学卒業生も高い就職率となりました。就職指導委員会では、引き続き万全の体制で学生を支援していきます。

資格取得奨学金授与式

I種3人など88人に授与

在学中にさまざまな資格試験に挑戦しようという学生たちを、本学では積極的にバックアップしています。資格取得や認定試験などの情報提供はもちろん、大学が指定した各種資格、検定試験に合格した学生に奨学金が給付されます。資格取得奨励奨学金の授与式が1月12日に行われました。



高難度の語学検定をはじめ情報処理技術、簿記、秘書、ファイナンシャルプランナーなどで見事資格試験に合格したI種3人、II種85人、奨学金から贈られました。取得資格は表のとおり。

種別	取得した資格	人数
I 種	中国語(中国語検定試験)準2級	1人
	ソフトウェア開発技術者(旧1種)	1人
	ファイナンシャルプランナー2級	1人
II 種	基本情報技術者(旧2種)	5人
	初級システムアドミニストレータ	11人
	中国語検定 3級	9人
	日商簿記 2級	5人
	TOEIC 600点	4人
	ロシア語能力検定試験3級	3人
	ハングル能力検定試験準2級	2人
	インターネット検定シングルスター	4人
	秘書技能検定 2級	39人
	建設業経理事務士 2級	2人
	ファイナンシャルプランナー 3級	1人

2007年度「映画のなかの市民社会」

「政治における嘘」をテーマに

1999年以来続いてい
る本講座は、新潟市の映画
館「シネ・ウインド」で上
映される映画を題材として
連続講義を行い、市民社会
のあり方について分かりや
すく考えます。もうすつかり市民の間に定着した恒例行事になりました。

課題作品上映映画とセミナー日時

- I.〈セミナー〉5月30日(水) 19:00~20:30
講師:綿井 健陽(映像ジャーナリスト)
『グアンタナモ、僕たちが見た真実』
上映期間:5月19日(土)~6月1日(金)
- II.〈セミナー〉6月13日(水) 19:00~20:30
講師:小山田 紀子(新潟国際情報大学教授)
『約束の旅路』
上映期間:6月2日(土)~6月15日(金)
- III.〈セミナー〉6月27日(水) 19:00~20:30
講師:熊谷 卓(新潟国際情報大学准教授)
『パラダイス・ナウ』
上映期間:6月16日(土)~6月29日(金)

会場 新潟国際情報大学 新潟中央キャンパス
(映画上映会場:新潟市民映画館シネ・ウインド)
参加費 無料
TEL・FAX:はがき・ホームページ
からお申込みください。
FAX:ハガキの場合は、
〒住所・氏名・年令・電話番号を明記
新潟市中央区上北大川前通7番町1169
TEL/025-227-7111 FAX/025-227-7117
協 力 新潟市民映画館シネ・ウインド

5月から3回開催。参加者募集！

第一回は世界中を取材している映像ジャーナリストの綿井健陽さんをゲスト講師に迎えて、中東の現実をふまえた話をさせていただきます。



会場には、
現地での楽し
いさまざまな
交流のスタッ
プ写真パネル

2006年度の海外派遣留
学と海外夏期セミナーが無事
に終了し、学生たちの帰国報
告会と慰労懇親会が1月17日
本学国際交流センターで開か
れました。

今年度の参加コースはアメ
リカ、韓国、中国、そしてカ
ナダの4カ国。参加した学生
24人の代表が、海外での初体験
派遣校での交流、語学の苦労
と成果などを報告しました。

素晴らしい体験、たくましく成長

留学から帰国し報告会

が展示されて雰囲気盛り上げ
ました。懇親会では学長はじめ
教職員を囲んで貴重な体験話を
披露し、全員の無事をあらため
て祝い合いました。



アメリカコース
情報文化学科2年 猪 一樹

大切なリスペクト

留学において大切なことは偏
差値やTOEICのスコアでな
く、リスペクトだということに
実感しました。

日本人の仲間であれアメリカ
でできた仲間であれ、僕は変わ

買物で楽しく勉強

中国人はともてフレンドリー
で、中国の習慣にもすぐに慣れ
ました。授業は私たち9人だけ



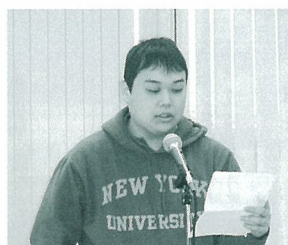
中国コース
情報文化学科2年 阿部 葉月

りなくリスペクトを捧げます。
アメリカの友人たちもそういう
ことができる人間です。だから
僕らの関係は過去形で終わらず、
現在進行形でこれからも進んで
いくでしょう。

僕の留学にかかわってくれた
すべての人に対し、感謝の意を
表します。

新しい自分を発見

私はこの留学でたくさんの素
晴らしい経験をする事ができ
たし、良い思い出を残すことが
できました。



韓国コース
情報文化学科2年 大石 寛武

でしたが、先生方はとても個性
的で、最初は会話中心で先生の
話す内容が理解できず、質問さ
れても答えられない状態が続き
ました。周囲の上達に焦りを感じ
ながら予習、復習を毎日続け、
授業にもついていけるようにな
り、1カ月たつと授業内容も増
え、中国文化に直接触れること
ができました。特に少数民族の
踊りや太極拳は貴重な経験にな
りました。

週末にはみんなで買い物へ行
きました。中国特有の「ねぎり」
では、うまく値切れるときもあり
れば失敗するときもあり、買い
物は本当に楽しい勉強になりました。

また、勉強や生活ではたく
さんの苦労をしました。しかし、
そのような苦労をしたお陰で、
いろいろな新しい自分を知る
ことができたと思います。そ
のようなことを知ることがで
きただけでも、留学へ行っ
てきた価値はあったと思ってい
ます。

今回の留学に参加すること
を応援し、支えてくれた家族
や仲間にはとても感謝してい
ます。

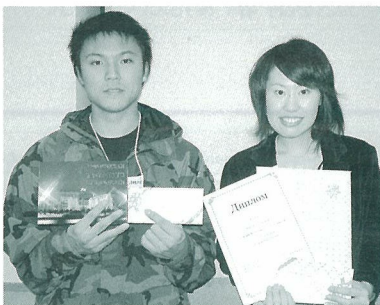
ロシア語スピーチコンテスト 2人が挑戦、高い評価

平成18年度のロシア語スピー
チコンテストが12月10日、新潟
市のクロスバルにいがた5階の
交流ホールで開かれ、本学から
2学生が挑戦しました。

このコンテストは、ロシア文
化に親しんでもらおうと毎年開
催され、在新潟ロシア総領事館
のV・クラコフ総領事が審査委
員長を務めました。

本学からは一般の部に情報文
化学科1年の青木早苗さんが参
加。9月からロシア語の勉強を
始めたばかりでしたが、「ボル
シチと私」と題して3分間の自
由スピーチを行い、豊かな表現
力が高く評価され見事2位に入
賞しました。

またチャレンジの部には同4



年の伊豆野裕一さんが挑戦。「ロ
シアの親切、日本の親切」と題
して5分間のスピーチを行いま
した。昨年も一般の部に参加し
て3位となった実力者で、惜し
くも入賞は逃しましたが、その

ロシア語能力、とくに質問に対
する確かな受け答えが審査員の
間で高い評価を得ました。

青木さんのスピーチ要旨は左
記の通りです。

「ボルシチと私」

皆さんはボルシチをロシア語
でボルシーということを知って
いますか？私は知らなかった
し、食べたこともありませんで
した。材料も子羊の肉とトマト
のイメージでした。

しかし、今年の学園祭でロシ
ア人と一緒にボルシチを作り、
びつくりさせられました。なぜ
ならボルシチの赤色は赤カブか
らきていたからです。しかも、
肉も普通に豚肉だったことも衝
撃でした。その時、私はボルシ
チの作り方を覚えたので、これ
からみなさんにお話しようと思
います。

実り多き学園生活を送ろう

自主・自律性を身につけ行動を

学長 武藤 輝一

月日のたつのは早いもので本学創立以来満13年が過ぎました。そして3月には第10回卒業式を終え、本学の卒業生総数2935人となりました。卒業生の皆さんは社会のいろいろな分野で活躍中であり、大変うれしいことです。

開学時、校舎は和やかな田園に囲まれ、学習には素晴らしい環境でしたが、ちよつと寂しい感じもしました。しかしこの13年間に周辺に人家もかなり増え、近くに看護専門学校のほか、

将来をしつかり見据えて

コンビニエンスストア、美容院、レストラン、喫茶店もそれぞれ数軒ずつ増え、ほつとした感じであり、人間社会の中にある大学という感じがするようになりました。今年も323人と定員(250人)を超える新入生を迎えることになりました。新入生諸君は、実社会に出る前の在学中

情報文化学部長

榎本 公一



新学期を迎え、大昔に学生であった自分自身を省みながら、万年テーマのひとつ「学生時代に何をすべきか」について考えてみましょう。

この答えは当然ながら一つではありません。このテーマを語る人は学生時代にその答えを出したのではなく、社会に出てからのそれぞれの成功あるいは挫折の経験と価値基準を通して学生時代を省み

学生部長

近藤 進



今年は暖かく桜も開花しました。新入生の皆さん、入学おめでとうございませう。

大学生活は高校までと異なり、大変自由です。これまで以上にいろいろなことができます。学修に課外活動に大いに活躍してください。大学では正課の学修のほか、スポーツ、文化・学術研究活動を行うことも大切です。これらの活動を通して得られる豊かな

好奇心を持つて

挑戦を

て、それぞれの答えを出すことになるからです。私自身としては、学生時代にたまたま出合った「電子計算機」に興味を持ち、飽きもしないで付き合ってきました。システムが稼動した瞬間の喜びを思い浮かべながら、厳しい開発の仕事でも楽しく前向きに取り組むことができた経験があります。一方、クラブ活動では失敗をし

自ら花を

咲かせよう

な発想、バイタリテイ、責任感、コミュニケーション能力は将来の社会生活に大いに役立ちます。学友会、スポーツ部などの公認団体・サークル活動、ボランティア活動、学園祭(紅翔祭)など、いろいろな活躍の場もあります。学修でも課外活動でも何か一つ目標を立てて頑張っていた方がいいと思います。根気よく続けることが大事です。一方、

に、何事も自分自身の思考の下で話し、行動するという自主性と、自分の言動に説明責任を持つ自律性を身につけるよう心掛けてください。また全学生のくく一部には科目別の必須取得単位数を考慮して留年せざるを得ない人もありますので、日ごろ十分留意してください。なお、3年次生になるころには、近親者の意見なども聞きながら、自分自身で将来はどのような職業に就きたいか考えをまとめておいてください。教職員のたちも相談のつています。

全在生諸君が、悔いのない実り多い大学生活を送ることができるよう、教職員一同祈念致しております。

度大恥をかい経験によって、人並みの度胸がついて消極的な性格が少しはなおりました。従って、私が語れることは、学生時代は失敗を糧にする時間もエネルギーも十分にあるので、現状に甘んじて易きに流れるのではなく、好奇心を持つてさまざまな目標に挑戦してほしいということです。

本学報の「卒業生の便り」の中に、社会人になった皆さんの先輩たちが直接あるいは間接的にこのテーマについて語っているのをいつも興味深く読ませてもらっています。ぜひ皆さんも読んでください。

自由になった分だけ責任も発生します。他の人の迷惑にならないよう配慮することも重要です。

学生部は学修と就職以外のほとんどのことについてかわっています。分からないことや不安なことがありますたら、気軽に学生部の教員や学生係に相談してください。

南西に見える角田山・弥彦山は雪割草(オオミスミソウ)でも有名です。雪割草は種子から花が咲くまで4年といわれています。そして一つとして同じ花がありません。皆さんも4年後にぜひ素晴らしい花を咲かせてください。

NUISを去るにあたって

充実した13年間の 日々感謝

情報システム学科 英語担当特任教授 荻部 恒徳



このたび70歳の定年を迎え退職いたしました。新潟国際情報大学には大変長くお世話になりました。平成6年の開学以来、8年間は非常勤講師として、平成14年から5年間は特任教授として、13年間勤務させていただきました。この間、教育・研究に私の人生で最も充実した日々を送ることができましたのも、皆さまのご理解とご協力のおかげと感謝しております。英語の授業では良く付いてきてくれた学生諸君に感謝しています。武藤先生はじめ教員の方々、田村事務局長さんをはじめ事務局の方々に大変お世話になりました。これらのことは一生忘れられません。ありがとうございました。

退職後は教職からは完全リタイア(卒業?)します。研究は今後も続けていきます。傍ら趣味の園芸、といましても実用的な野菜作りですが、に精を出し、勉強のし過ぎ(?)で弱った体を蘇るつて鍛えたいと思っています。家が近いので、4月から図書館の利用者になります。みずき野にはなじみの店も何軒ありますし、時々大学やその界隈でお目にかかることもあるかと思ひます。最後に学生諸君と教職員の皆さまのご健康とご発展を、また、新潟国際情報大学のますますの充実をお祈りしてご挨拶いたします。NUIS頑張れ!陰ながら応援しています。

役立ててほしい

「会計」情報

青淵 正幸



情報システム学科助教授として平成15年9月に着任し、主に企業会計に関する科目を担当しました。

もあり、「会計」と聞くと代金の支払いや経理を想像する人も多いでしょう。それも誤りではありませんが、会計は諸活動の結果を金銭単位で表現するものであり、今後の活動を決定するための重要な情報です。就職すると売上高や利益といった会計情報を経営者や従業員間の共通言語として使われることもあります。講義でお伝えしたことが社会に少しでも役に立っていただければ幸いです。私にとって新潟は初めての地でした。多くの花に囲まれる春、日本海に沈む夏の夕日、弥彦山や角田山を彩る錦秋の秋、そして冬将軍の到来、四季折々の自然と環境が心を豊かにしてくれた気がします。

2007年度を迎えて

情報センター長



情報文化学科教授
區 建英

情報センターは
本学の最も重要な
施設の一つです。
その中には「教育・
研究セクター」と「図

書情報セクター」が含まれます。前者は
情報関連の機器およびシステムを整備・
管理して教育と研究に供する部門です。
後者はすなわち本学の専門図書館です。

大学において、授業を通じて知識を学
ぶことは重要ですが、単に受身的に先生
から知識を教えてもらうだけでなく、自

情報文化学科長



情報文化学科教授
高橋 正樹

よき社会人、よ
き職業人、よき市
民になるために、
大学4年間はしつ
かり学んでください。

まず、人間はひとりでは生きてゆくことは
できません。自分の都合ばかり言い「他
者への配慮」に欠ける自己中心的な言動
は「幼稚さ」の典型です。大学の授業や
課外活動で、広く社会の一員であるとい
う意識を持ちながら豊かな人間性と社会
性を育んでください。

つぎに、人間は仕事をしなくては生き
ていきません。それは収入を得る手段で
あり、生きがいを与えてくれるものでも
あります。最近では少し就職状況が良いと
はいえ、基本的にはグローバルゼーショ
ンによりますます雇用環境は厳しくなっ
てゆきません。

よき市民、職業人になるために

そして、人間は市民としての責任を
果たさなければなりません。ここでの市
民とは、社会と時代に責任を持って行動
をとれる人のことです。いま、グローバ
リゼーションの流れが世界を混乱させて
います。国内外での社会の格差拡大、東
アジアの不安定、環境問題などの解決に
向けて、皆さんは投票行為をはじめ日常
においてもその責任を果たす必要があり
ます。

そのために、社会問題に関心をもち批
判的に分析し、その解決に参画できる力
を大学で付けてください。毎日、新聞を
読み、授業でしっかりと学んでください。

情報システム学科長



情報システム学科教授
高木 義和

情報システム学
科のカリキュラム
では、基礎・共通
の必須科目や専門
の演習科目が1、
2年に数多く配置されていますので、場
合によっては高校の時より忙しいかもし
れません。

情報システムを学ぶには講義科目によ
る知識の習得と、演習科目による情報技
術の習得の両者が必要です。知識だけで
技術がないと社会に出て役に立つ働きが
できないこととなります。逆に技術だけ

主的に読書し研究することこそ、大学生
らしい勉強のあり方です。この意味で、
情報センターの二つのセクターとも、皆
さまの積極的な利用を期待します。

書を読めば 万倍の利あり

知識の習得について孔子はこう言いま
した。「それを知る者は之れを好む者に
如かず。之れを好む者は之れを楽しむ者
に如かず」(論語)。つまり、知識を知
ろうとするより好もうとし、好もうとす
るより楽しむようにすることです。学問を
苦勞とせず、進んで楽しむ方が良い効果

を得られます。また、「書を読めば、万
倍の利あり」(王荊公勸学文)という古
人の教えがあります。つまり、本を読む
と何倍かの利益がありますので、決して
むだになることはないということです。
読書や研鑽に時間を惜しまない方が多く
得られます。

一人の有限な人生で体得できない経験
と知識は、長い歴史経験の中で無数の人々
が蓄積してきました。それが書籍や情報
メディアによって伝えられ、今日の人に
計り知れない力をもたらすのです。皆さ
ま、ぜひ知的好奇心を持ってそれを獲得
するよう期待します。

知識と情報技術の 両方を必修

まず。そして3、4年生ではその上に専
門知識を学び、卒業で大学で学んだ知識
と技術の集大成を目指します。

卒業までに過不足なく126単位をと
るよう緻密に計算をする人が増加してい
るようですが、卒業に必要な単位は12
6単位ではなくて126単位以上です。
目先のことを考えると126単位以上を
学修するよりアルバイトで収入を得る方
が利益がありそうですが、大学の学費と
アルバイトで得る収入を比較すると、ア
ルバイトで得ることのできる収入の方が
はるかに少ないはずですよ。

情報システムに関する知識と技術を習
得するために4年間は十分な時間ではあ
りません。126単位を超えて学修する
ことと、126単位のめどがついたらア
ルバイトに励むことのどちらが自分にと
って有意義なことか、すでに学んだ情報
に関する知識と技術を使って検討してみ
てはいかがでしょうか？

Carolyn L.
Kaltenbach

(キャロリン・L・
カルテンバック)

情報文化学科
CEPインストラクター

担当学科

CEP

専門分野

- 1.Graphic Implementation of Orthographic Instruction
- 2.Intercultural Communication Studies
- 3.Educational Curriculum Design
- 4.Student-Centered Collaborative Curricular Development



経 歴

1994年～1996年 カンザス大学
応用英語センターインストラクター
1996年～1999年 沖縄県立向陽
高等学校
2000年～2001年 サンディア
高等学校 (ニューメキシコ州)
2001年～2006年 上越教育大学
専任講師
2006年～ 新潟大学非常勤講師

笹川 壽昭

情報システム学科
特任教授

担当学科
英語

専門分野

- ①中世英語英文学
- ②英語史
- ③一般英語



経 歴

1967年～1968年 獨逸大学外国
語学部
1968年～1994年 新潟大学教養
部
1987年～1988年 英国ケンブリッジ
大学研究員
1994年～2007年 新潟大学経済
学部

新任教員紹介

情報文化学科 CEPインストラクター

グレッグ・ダン

平成16年4月から3年間勤務。大阪樟蔭女子大学
の専任講師として赴任。

また、水害や地震、大雪にも遭遇し、自然の驚異と
危機管理の大切さを学びました。新潟での生活はわ
ずか三年半でしたが、とても価値のある期間となり
ました。
今春、私は新潟を離れましたが、いつかどこかで
皆さまにお会いできる日を楽しみにしています。最
後に、新潟国際情報大学のますますの発展をお祈り
いたします。
(立教大学へ赴任)

高校生はじめどなたでもご参加できます!

OPEN CAMPUS 2007

オープンキャンパス

1回目 7/22日 2回目 9/30日
10:00~15:30

◎会場 新潟国際情報大学 本校
新潟市西区みずき野3-1-1 (JR新越後赤塚駅下車 徒歩7分)

学科及びカリキュラム説明
入試情報説明
入試問題の傾向と対策
模擬講義
コンピュータ実習
語学体験
個別入試相談
就職相談
海外留学相談
学生との懇談
学内見学



※変更となる場合もありますので、事前にご確認ください。

高校生・ご父母のための

進路ガイダンス

◎開催日 平成19年4月28日(土) 10:15~14:10

◎会場 新潟国際情報大学 本校
新潟市西区みずき野3-1-1 (JR新越後赤塚駅下車 徒歩7分)

>>>スケジュール

9:45~	受付
10:15~11:05	「自分にあった進路選択」 講演 ベネッセグループ 進研アド 日下部 聡 氏
11:15~12:30	「進路について考えてみよう!!」 パネルディスカッション パネリスト 新潟県教育庁 高等学校教育課企画振興係 指導主事 小林 皇司 氏 日本文理高等学校 進路指導部 田中 誠 氏 富士ゼロックス新潟 株式会社 総務部人事係長 神丸 浩幸 氏 ベネッセグループ 進研アド 日下部 聡 氏 新潟国際情報大学 学生部長 近藤 進
12:30~13:10	昼食 (学生食堂で試食ください。無料)
13:10~14:10	「大学ってどんなところ?」 本学学生によるパネルディスカッション

※当日は、学内見学も可能です。

参加お申し込み

高校の進路指導の先生、
もしくは右記にお申込みください。

新潟国際情報大学 広報係

〒950-2292 新潟市西区みずき野3-1-1
TEL.025-239-3111 FAX.025-239-3690
E-mail soudan@nuis.ac.jp

平成20年度 入学者選抜試験概要(要約一覧)

入試区分	募集人員	出願期間	試験日	試験地	試験実施教科・科目	合格者発表日 入学手続き期間
高校長推薦入試	高校長推薦 情報文化学科 10	19年11月1日(木)~ 11月6日(火)	19年11月11日(日)	新潟	本学が指定校と定めた高校長あてに推薦依頼を行います。 面接・小論文 学力推薦要件:全体の評定平均値3.8以上又はいずれか1教科の評定平均値が4.5以上であること。 面接・小論文 対象科目については、募集要項で確認してください。 面接・小論文	19年11月15日(木) 11月30日(金)
	指定校制 情報システム学科 20					
	高校長推薦 情報文化学科 30					
	公募制 情報システム学科 35					
社会人入試	高校長推薦 スポーツ 情報文化学科 若干名	若干名			面接・小論文	
	情報システム学科 若干名					
一般入試	前期 情報文化学科 35	20年1月7日(月)~ 1月22日(火)	20年2月2日(土)	新潟 上越	・国語:国語総合(現代文)・現代文 ・数学:数学Ⅰ・数学Ⅱ (数学Ⅱは、微分・積分を除く) ・外国語:英語Ⅰ・英語Ⅱ 上記3教科の中から2教科を試験場で選択	20年2月7日(木) 20年2月7日(木) 2月18日(月)
	情報システム学科 60					
	大学入試センター試験利用 情報文化学科 15	20年1月30日(水)~ 2月14日(木)	20年1月19日(土)、20日(日) の大学入試センター試験を受験していること		学科試験を課さず、20年度の大学入試センター試験の成績で判定。全教科の中から2教科2科目選択 配点:各教科100点。 (3科目以上受験した場合は高得点の2教科2科目を合否判定に使用)	20年2月22日(金) 20年2月22日(金) 3月10日(月)
	情報システム学科 20					
	後期 情報文化学科 10	20年2月15日(金)~ 3月3日(月)	20年3月10日(月)	新潟	・国語:国語総合(現代文)・現代文 ・数学:数学Ⅰ・数学Ⅱ (数学Ⅱは、微分・積分を除く) ・外国語:英語Ⅰ・英語Ⅱ 上記3教科の中から2教科を試験場で選択	20年3月13日(木) 20年3月13日(木) 3月24日(月)
	情報システム学科 15					

本学独自の 奨学金制度(給付)

- 学費特別給付奨学金(全学年対象) 授業料全額又は1/2
- 表彰奨学金(2~4年生対象) 10万円
- 海外派遣留学・海外研修奨学金(2年生対象) 15万円~20万円
- 資格取得奨励奨学金(全学年対象) I種5万円、II種2万円

- 学費臨時給付奨学金(全学年対象) 授業料・施設設備費の当該期分全額又は1/2
- 学費奨学融資制度奨学金(3・4年生対象) 借入利息相当額

◎入試と奨学金の詳細については事務局までお問い合わせ下さい。 TEL025-239-3111 E-mail gakumu@nuis.ac.jp

大学在学中の4年間はあっという間に過ぎました。当初は大学に慣れるのに必死でしたが、徐々に友達も増え、世界も広がっていききました。思い返すと楽しかった思い出や大変だった思い出が本当にたくさんあります。

中でも一番心に残っているのは、3年生の夏休みに経験した学外実習です。この学外実習では、ある企業で2週間、働いている社員の方々に交じってさまざまな職業体験をさせていただきました。それまでは働くということを考えても漠然

貴重だった学外実習の体験

情報システム学科 田沢 弥奈

と想像することしかできませんでした。実習を通してその責任の重さややりがいや学ぶことができたと思います。また、実習先で人生のお手本となるような素晴らしい方々と出会うこともできました。この2週間の貴重な経験はその後の就職活動にも大きく影響したと思います。

春からは新しい場所、社会人としての生活が始まります。すべてが初めてのことはありますが、本学で学んだことを生かし、何事にも前向きにチャレンジしていきたいと思っています。

神様というのは意外で、楽しい時間ほど早く過ぎてしまいます。まるで一瞬のうちに過ぎ去った経済の4年間。今思えば4年前の入学式、右も左も

もちろん大学での思い出。語りだしたらきりがありません。けれど、やはり最後の思い出は、弥彦組が役員となり卒業祝賀会を成功させたことじゃないでしょうか。

分らないが、なんとなく覚えているのは「俺も大学生か」と大きくなるばかりの期待を背負っている自分自身。初めての大学での研修で、4年間で共にすることになった最高の友との出会い。研修の部屋が弥彦だから「弥彦組」。

最高の友「弥彦組」に感謝

情報システム学科 増田 拓真

この場を借りて、弥彦組のみんなを貸してくれてありがとう！

冬の白い息のように一瞬の広がりを見せて消えてしまいました。しかし非常に神秘的で、その中にはたくさん

そんな弥彦組とのいろいろな思い出ができました。弥彦山に登ったり、毎年恒例となった夏のBBQ、飲み会、

たちが詰まっていた。卒業式の思い出とともに、多くの友にありがとう。

様書を作成したり、就職先においても役立つ、大変有意義な研究ができたと思います。指導

有意義な研究、IT企業へ

情報システム学科 山本 真範

授業、卒業研究、就職活動に加え、大学生になって初めて経験したアルバイトなどを通して、教職員の方々と多くの友人、その他かけがえのない人たちが出会えたことは本当に幸せだと思っています。私は本学の推薦をいただき、東京圏のIT関係の企業に就職することになりました。新生活も充実したものに

「卒業生ひとこと／学んだこと、今後の抱負」

大学生活とは私にとって何だったのか。ブランドもののバッグを買ったため学校にも行かず必死でバイトをしたり、平日の夜から飲んだくれたり、まったく、大学生とは訳が分からない存在である。かくいう私も、ブランドや酒の代わりにバンド活動があっただけで、本質的には何ら変わらない。

血肉になった多くの体験

情報文化学科 小柳 佑貴

多分こんな大学生は世の中にあふれるほどいて、まさに「人生の夏休み」といふべき時間を経験しているのだらう。「あなたにとって大学生活とは」と聞かれても、返答に困る。かといって、「英検1級をとりました」とか、教

師の免許をとりました」といふことを、大学生活の成果として答えるのも、何か違うような気がする。そんな私が良かったと言えることが二つある。一つは、多くの出会いがあったことであり、もう一つは、たくさんの知識を得たことである。それによって多くの事を考えることができたし、そのすべてが自分の経験となり、血肉になっていくのを感じる。それはとても素晴らしいことだと思ふ。偏差値がそのまま人生の価値だなんて考えている人たちは自分からいなかも知れないけれど。

多角的に物事を見ること

情報文化学科 福田 佳弥

私が大学で学んだことは「多角的に物事を捉える」ということだ。私が大学に入学したのはちょうどイラク戦争の話題が出た。そしてすべての先生が「与えられた情報を批判的に見なさい」と繰り返した。「批判的に見る」ということはどういうことなのか。はじめ私にはよく理解できなかった。しかし、先生が

「多角的に物事を見る」ということが癖になっている。私はこれから社会人として社会に出るが、これは私にとって大きな財産となるだろう。

素晴らしい出会い楽しむ

情報文化学科 本間 潤子

4年前、私は入学式で新人生代表あいさつをした。そのときの緊張感、まるで昨日のことのように思い出すことができる。あれから本当に4年がたったのだろうか。月並みの言葉ではあるが、大学生活は本当にあっという間だった。授業はもちろん、部活動やアルバイトなどで充実した素晴らしい時間を過ごすことができた。なぜ素晴らしい時間であったか。それは、そこに素晴らしい人間との出会いがあったからだと思ふ。

ろう、と。

これから始まる新しい生活の中にも、素晴らしい人間との出会いがあることを今から楽しみにしている。

平成18年度

卒業式

学長告辞



新潟国際情報大学長
武藤 輝一

自らを鼓舞し自らの

信条に違わぬ道を進もう

本日、ここに多数のご来賓並びにご父母の皆様方にご出席いただき、第10回新潟国際情報大学卒業式を挙行できますことは、卒業生の皆さんはもとより、本学にとりまして大変喜ばしい限りであります。この日を迎えられた卒業生の皆さんに、またご父母の皆様方に新潟国際情報大学の役員、教職員一同を代表して、心からお祝い申し上げます。また本日ご出席のご父母の皆様方には、晴れの卒業式でご子弟を目の前にされ、お喜びは如何ばかりかとご推察申し上げます。

この度の本学卒業生は情報文化学科107人、情報システム学科162人、合わせて269人です。このように澁刺として、希望と期待に溢れ、前途有為の皆さんを送り出すことができますのは、新潟国際情報大学に取りましては大きな喜び、かつ大きな誇りであります。

4年前の入学式での皆さんの様子を、あらためて新潟国際情報大学・大学広報第19号で拝見しました。大学入学と同時に、これからやるぞという新たな覚悟を持った面持ち、自信に満ちた顔、あるいはちよつと

不安そうな顔などいろいろでしたが、4年の学業を終えた今、感慨一人身にしてみても、感懐あるところがあるかと存じます。大学生生活を満喫できたでしょうか。精いっぱい学習できたでしょうか。悔いは残りませんでしたか。走馬灯のように巡る数々の思い出を胸に、皆さんは学び舎を後に、実社会へと旅立つことになりました。

皆さんはこれまでのキャリア開発教育やインターシップの経験を参考に進むべき道を決めたのでありますが、これからのそれぞれの企業や機関の組織の中には、習慣的な思考や活動があります。すべて皆さんの思い通りに運ぶわけではありません。そのような時にこそ、強い覚悟と信念を持ちつつ、他人の提言にも耳を傾けながら、努力して自らの道を生かしてください。菊田一夫作『がめつゝい奴』の中で「人間は努力を忘れたらあかんで。ほんきに氣入れてやったら何でも思い通りになる」と言っています。「何でも思い通りになる」はともかくも「努力」は人生の生きる柱ではないでしょうか。「信念と努力」を皆さんの箴言の中の一つに加えてほしいのであります。

画家の多くは自画像を描きます。たくさん描く画家もあります。私は自画像は自己表現であるとともに自己凝視であると思っています。これからの人生の中で、いろいろの悩みや困難に遭遇することがあるかもしれません。このような時には写真や鏡に写る自分の顔や姿を見て、自分自身をあらためて把握しながら、時には反省し時には自らを鼓舞し、自らの信条に違わぬ道を進むよう努力しようではありませんか。

21世紀に入り、国際的な企業や文化の交流、世界的な情報技術の進歩と拡大が大変活発となりました。私たちの大学の存在意義がますます強調されるようで大変うれしいことです。皆さんがこれから活躍する企

業や機関において、日常の業務の中で、あるいは発展や改善に関する会議や懇談会などの中で、適切な機会であると思つたら、自らの知識や技能に関連するものを提言することも必要でしょう。例えば現状での卑近な一例を挙げますと、物流分野の企業では商品にバーコードを付けていることが多いのですが、バーコードをICタグに替えるよう提言することなどもどうでしょうか。ICタグにはたくさんの情報が含まれ、商品の個別の管理が容易となるからであります。なお、何事にも進歩、開発の著しい時代であります。常に自らの知識や技能の進歩を図ること、あるいは新しい分野の知識や技能を得ることを心掛けましょう。本学のオープンカレッジや類似のスクール、専門職大学院、放送大学がありますが、テレビ、ラジオ、雑誌、書籍、新聞などから学べるものもあります。「生涯学習」と重く考えず、人の一生には常に伴うことと考えるください。

在学中に友人はできましたか。書『礼記』には「親しき者にはその親たるを失うことなかれ、故き者にはその故たるを失うことなかれ」とあります。親しい友人、近親者との交流を温かく持ち続けましょう。心か

来賓祝辞



富士ゼロックス新潟株式会社
代表取締役 松田 完 様

リーダーにとつて

大切な4つの条件

今日は卒業生の皆さん、本当におめでとうございます。

今日まで皆さんを育てていただいたご両親、

ら本人のためと思い、提言を受けることも、提言することでもできるからであります。また同じ大学の同級生、先輩、後輩、教職員の人たちとは不思議と容易に話し合えるものです。自分の悩みを打ち明け、役立つ示唆を受けることができます。同窓会はこのような機会のきっかけともなります。本学の同窓会は毎年、新潟中央キャンパスと東京都内で開催されます。勤務多忙のため容易ではないでしょうが、都合がつけましたらぜひ出席してください。ちなみに第10回卒業生の皆さんを加えて、本学創立以来の卒業生は2935人となりました。うれしいことです。

日本全国珍しい暖冬でありましたが、新潟では3月に入って雪が降り、北風の強い日がありましたので、これからようやく春らしくなるところです。しかし桜花咲き乱れる4月には、皆さんはそれぞれに社会人として澁刺と緊張した面持ちで新しい勤めに専念していることでしょう。実社会への船出に当たり皆さんが元気に大いに活躍されるよう期待しております。

皆さんのご卒業を心からお祝い申し上げますとともに、前途に幸多かれと祈り、皆さんを送る言葉と致します。

ご父兄の方、並びに大学関係の方々、皆さん本当におめでとうございます。

本学と富士ゼロックスは、非常に長い、開学以来のお付き合いをさせていただいております。この中に野村君がいます。野村君が入社していただくことになっております。野村君を加えてちよつと本学出身の方が12人になります。私どもの会社は約240人の会社ですから、5%にあたるということになります。ということで、非常に私どもの若手・中堅のところまできておりますけれども、非常に頑張っているたく強い人たちが多く、大変私は期待をしております。

本学出身の人は非常に粘り強く、それに加えてITリテラシーの高さということもあり

まして、非常に私どもの仕事には大きな力を
いただいております、大変感謝をいたしております
す。私どもも大変優しく接しておりますので、
野村君も安心して来ていただきたい。

それから、少し皆さんに人生の先輩として、
何かメッセージを贈ろうかなということであ
えてきましたが、数年前に城山三郎さんが日
経の紙上でリーダーシップについて書いてい
るものがありますので、それを皆さんにご紹
介して、ぜひそれを意識して社会に巣立つて
いただきたいと、それを読みます。

「経営者にも政治家にも共通することだが、
リーダーの条件とは何か?と問われれば、常
にあるべき姿を求めている。これが1番目で
すね、あるべき姿。それから、2番目に人間
に対する関心や好奇心が旺盛である。それか
ら3番目。卑しくない、ということ。人間と

卒業生答辞



情報システム学科(総代)
田近 有 理

膨大な「情報」の意味を修得

輝く未来へ新たな旅立ち

本日は私たち卒業生のために、このような
盛大な卒業式を挙げていただき、誠にありが
とうございました。

またご来賓の皆さま、並びに関係者の皆さ
まにおかれましては、多忙の中ご出席してい
ただき、心よりお礼申し上げます。本私を
含め269人が卒業することとなりました。

今年は昨年の大雪が嘘であったかのように
過去に例を見ない暖冬少雪です。この大学生
活4年間においても自然災害がいくつも発生

して卑しくない。そして4番目に、大局を掴
む力があると...この4つがリーダーにとって
「一番大切な」と彼は言っているのですが、リ
ーダーということだけではなく、人間として
社会人として世の中に出て行くときに、どう
してもこの4つだけは持っていたきたいとい
うことで、あまり多くをお話しても、なか
なか皆さんの心にインパクトとして残らない
と思いますので、この4つだけお話をして、
素晴らしい巣立ちをしていただきたいと願っ
ています。

社会は皆さんの無限の可能性を大変楽し
みに待っておりますので、どうぞ元氣よく飛び
出していきたいと思います。甚だ
簡単ではございますが、私の祝辞とさせてい
ただきます。おめでとうございます。

し、異常気象が続いています。そのような中
で私たちは他人事ではなく身近な出来事とし
て自覚しなくてはなりません。
答辞を行うにあたり、本学に入学しようと
決意し、入学してから今日までの4年間を思
い出しました。上越出身の私にとって、初め
ての一人暮らし、不慣れな土地に期待よりも
不安が大きかったのを思い出します。しかし
大勢の方々、生まれ育った街に似た風景に支
えられ、また、家族のありがたさを実感する
など、学問以外にも大きなものを得られまし
た。

正直入学するまで「新潟」「情報」という二
つのキーワードでしか新潟国際情報大学とい
う大学を知りませんでした。入学後、一言で
「情報」といっても、私の想像を超える内容
がその言葉には含まれていることを学びまし
た。その中でも一番印象深い分野が「情報リ
テラシー」です。「情報リテラシー」とは、
情報を正しく読み書きする能力のことです。
自分にとって必要な情報も不必要な情報も膨
大に存在する現代、自分の目的、目標に似合
った情報を自分自身で修得しなければならま
せん。

私の卒業研究におきましても情報収集のた

め、「情報リテラシー」という能力を活用し
ました。卒業研究において、この情報収集が
最も苦労した面ではありましたが、苦労した
おかげで「情報リテラシー」がいかに重要か
を実感致しました。

現在、AIをはじめとしたソーシャルネッ
トワークサービスが盛んであり、私も某ソー
シャルネットワークサービスを行ったことが
あります。誰もが簡単にブログを行うことが
でき、見知らぬ人と交流できる時代でありま
す。幅広く交流できますが、一つの文字、言
葉で相手を不快にさせたり、傷つけてしまっ
たりと凶器になってしまふ恐れも常にありま
す。そのような中で「情報」「文化」について
学び、そこから考えた私たちは、「情報」と
「文化」とを意識して、この急速に進歩し続
けている情報化社会の中で過ごしていかな
ければいけません。

新潟国際情報大学が平成6年に開学し、平
成10年に第1期目の卒業生を送り出し、私た
ちが記念すべき節目の10期目の卒業生となり
大変うれしく思っています。「卒業」は一つ
の節目であり、別れという面もありますが、
新たな地への旅立ちという側面も持っていま
す。今までの環境とは違う環境となり、期待
や不安が混在しています。4年間で得た知識
経験、そして、この卒業生代表としての答辞
も私の中で大きな財産となりました。卒業生
一人ひとりにいろいろなことがあると思いま
すが、この4年間で得た財産を今後の人生に
生かしていきます。

私たちの瞳に映り輝いている未来を信じて
一歩一歩歩み進めていきます。

最後になりましたが、学び、考えることの
面白さを教え、ときには厳しく指導してく
ださった教職員の皆さま、大学生活を支えて
くれた家族、そして4年間という長いようで
短かった大学生活を有意義に過ごした仲間た
ちすべての方々に感謝致します。

新潟国際情報大学の更なる発展を願い、私
の答辞とさせていただきます。

来賓名簿

(株)ウオロク	取締役人事部長	高橋 清二
自衛隊新潟地方連絡部	新潟募集案内所長	松田 心司
セコム上信越(株)	代表取締役	野沢 慎吾
(株)総研システムズ	総務部長	清水 保
鶴木(株)	総務部長	天野 敬作
東テク(株)新潟支店	執行役員	山本 渡
(株)仲代金属	工場長	高野 幹也
新潟総合警備保障(株)	執行役員	北村 栄一
(株)ビッグウイン	採用担当	奥田 昌弘
富士ゼロックス新潟(株)	代表取締役	松田 完
(株)マルイ	人事部 部長	貫 龍太郎

祝電

●文部科学大臣
●新潟県知事
●新潟市長

●日本私立大学協会会長
●上越教育大学学長
●長岡技術科学大学学長

●敬和学園大学学長
●長岡造形大学学長
●新潟工科大学学長

●新潟産業大学学長
●(株)芝通
●新潟総合警備保障(株)

●代表取締役社長
●新潟中央青果(株)
●代表取締役社長

●代表取締役社長
●(株)ビッグウイン
●代表取締役

●(株)文武堂
●代表取締役

●代表取締役

●代表取締役

●代表取締役

●代表取締役

●代表取締役

伊吹 文明

泉田 裕彦

篠田 昭

大沼 淳

渡邊 隆

小島 陽

新井 明

原 陽一郎

鎌田 豊成

布村 成員

広川 俊男

志田 正

廣田 幹人

平成18年度 卒業生おめでとう

決意新たに未来信じ飛び立つ

平成18年度第10回卒業式が3月20日、新潟市民芸術文化会館(りゅーとびあ)コンサートホールで行われ、269人(情報文化学科107人、情報システム学科162人)の卒業生が決意新たに巣立って行きました。

学位記授与に続き武藤輝一学長は「信念と努力でこれからも自らの知識や技能の進歩を図ってほしい」と告辞、前途を祝福し激励しました。これに対し、卒業生を代表して情報システム学科の田近有理さんが「情報化社会の中、4年間で得た知識と経験を今後の人生に生かし、自分の未来を信じて一步一步進んでいきます」と答辞を述べました。

最後に吹奏楽部の演奏で校歌「空がある風がある光がある」を卒業

生と教職員、来賓や父兄など参列者全員で斉唱し、温かい大きな拍手で卒業をたたえて記念式典を終了しました。

同日夕には恒例の卒業記念祝賀会がホテル新潟で開かれました。晴れやかにスーツやドレス姿の卒業生たちは、同僚と夢を語り激励し合い、また教職員を取り囲んで別れを惜しみ、門出を祝うパーティーを楽しみました。



第10回までの卒業生は合計2,935人に

平成18年度	278人(情報文化	110人・情報システム	168人)
平成17年度	299人(情報文化	121人・情報システム	178人)
平成16年度	294人(情報文化	115人・情報システム	179人)
平成15年度	314人(情報文化	118人・情報システム	196人)
平成14年度	277人(情報文化	111人・情報システム	166人)
平成13年度	291人(情報文化	118人・情報システム	173人)
平成12年度	294人(情報文化	114人・情報システム	180人)
平成11年度	303人(情報文化	126人・情報システム	177人)
平成10年度	290人(情報文化	124人・情報システム	166人)
平成9年度	295人(情報文化	116人・情報システム	179人)

(第1回)

※9月卒業生含む

平成18年度 卒業生特別表彰

学長賞

(学業成績優秀者)

情報システム学科(総代)

田近 有理

情報文化学科

捧 和美

学術賞

情報システム学科 長谷川 一美

勉学に励みソフトウェア開発技術者試験(1種)に合格した。さらに、初級システムアドミニストレータ試験、基本情報技術者試験、秘書技能検定試験2級にも合格した。

情報システム学科 寺井 絵美

平成18年にファイナンシャルプランナー技能検定2級(1種)に合格。学業にも熱心であり、成績も優秀である。

情報文化学科 山崎 樹

平成17年に中国語検定試験2級(1種)に合格した。これはためめめ努力による成果である。

課外活動賞

情報システム学科 大桃 慶大

平成17年度第2回石川新潟学連交流戦において、新潟県男子バスケットボール選抜チームの主将として平成16年度に続き2度目の選出として活躍した。

本学バスケットボール部で実質的な中心選手となつてから平成17年度北信越学生バスケットボールリーグ戦3部Aで優勝し、同リーグ2部へ昇格した。平成18年度同リーグ戦では2部で3試合に勝利し、ランキングも7位2部2位まで気に上りさせる原動力となった。